

# 目に見える改善～誘い合い登校～

これを子どもたちにも「見える化」したい!

2019.04.17

No.66

校長 渡邊 幸二



誘い合い登校は……



4月17日(水)。先生方のご指導のおかげで、課題であった「誘い合い登校」がそれらしくなってきました。ありがとうございます。

子どもたちが心地良いのは、やっぱり「自由」な登校ではなく、ある程度の「枠組み」がある中で楽しみや喜びを見出すことなのだと思います。われわれだって、たとえば学校研究を“何でもいいから自由に研究してください”と言われてたって、おそらく張り合いもないし、たいした成果もないまま終わってしまう……そんな気がしませんか?今の浜田小学校のように、「学びの共同体のパイロットスクールになる」という目標や研究の方向性という枠組みがあるからこそ、そちらに向かって意識やエネルギーを集中できるのだと思います。

さて、この状態の中で、リーダーシップ・フォロアーシップをいかに醸成するか、そして他者意識を高め、それがあいさつや思いやりの行動として表れるようにするのが次の課題で

しょうか。浜田小学校の子どもたちは「やればできる」と思うのです。しかし、昨日の日めくりカレンダーには

“やればできる”ではなく、“やらなきゃできない”のです。

と書いてありました。そう!「恥を捨てて、やる!」「まず、やってみよう!」の精神が大切ですね。

